

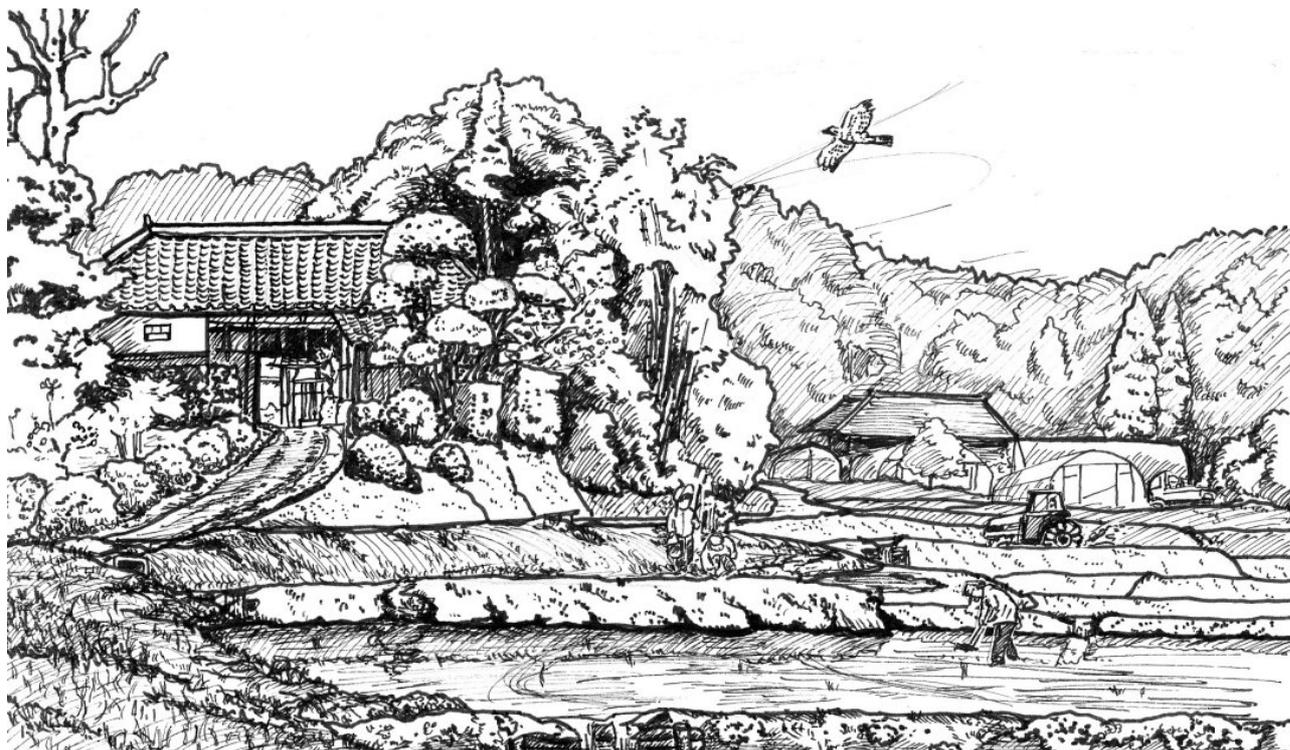
第2回 ちば里山フェスティバル「里山シンポジウム」

里山に託す私たちの未来

2005年テーマ

里山と子ども

先人の豊かな経験を、子どもとその親たちにも伝え、
美しい里山を取りもどし、次の世代に渡しましょう！



イラスト・松下優子，テーマ題字・倉島貴浩（ワークホーム里山の仲間たち）

里山とは.....

自然と調和・共存する人々の生活に育まれた森林・草地から水田や畑、川沼、水辺、そして集落を含む人と自然と文化とが一体となった空間です。この里山は、自然と人との共存の場であり、現在および未来の人々にとっては大きな価値を有します。

千葉県では、里山の保全・再生と活用を目指し2003年5月に「里山条例」を施行しました。その趣旨をしっかりと各地の現場に根付かせるためには、行政をはじめ農家、市民・NPO、研究者等が互いに力を合わせた息の長い取り組みが求められます。

今回の第2回里山フェスティバル「里山シンポジウム」は、里山条例の施行2周年を記念するとともに、里山をめぐるさらなる取り組みの大きなきっかけにしたいと思います。

全体会：2005年5月21日（土）中央学院大学（我孫子市久寺家451番地）

JR我孫子駅北口より送迎バスを運行します。詳細は4ページをご覧ください。

分科会：

里山のもつ機能を14の分科会にて、すでに8分科会は千葉県内の6市町にて開催されました。本日午前中に、中央学院大学6号館にて6分科会が開催されます。詳細は3ページをご覧ください。

主催：里山シンポジウム実行委員会、我孫子市
ちば里山センター、(社)千葉県緑化推進委員会、千葉県

後援：千葉市